



いわき市

市長記者会見

令和5年2月9日



いわき市

案 件

- 1 令和5年いわき市議会2月定例会の提出案件について

提出議案件数

1 議案 63件

(1) 条例 23件(制定1件、改正22件)

(2) 予算 33件(補正12件、当初21件)

(3) その他 7件

2 報告 2件



令和5年度 当初予算(案)のポイント





I 予算編成の基本的な考え方



予算編成の基本的な考え方

令和5年度は、中期的な財政見通しに立ち、新たに策定した「いわき版『骨太の方針』」のもと、中長期的な課題に対し、すべての分野においてベースとなる「人づくり」を進め、若者から高齢者まであらゆる世代がいわきに魅力を感じ、いわきを誇りに思うまちを「人づくり」で実現するため、次の2点を基本方針として、行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分することを基本に編成。

基本方針

1 「人づくり日本一」の実現を目指した政策の推進

① 次世代を育てる

教育

子育て

移住定住/流出抑制

DX/GX/広報

② 命・暮らしを守る

防災

医療

福祉/健康/地域包括ケア

中山間/担い手

③ まちの魅力を高める

産業

農林水産

観光/文化/スポーツ

まち/公共交通

2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

- ◆ 行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分
- ◆ 構造改革の取組みの着実な推進(行政DXの推進・公共施設等の最適化と維持保全への転換)



II 令和5年度当初予算の予算規模



1 一般会計 1,467億 6,731万円 (対前年度: +36億 716万 2千円、+2.5%)

- ◆ 定年延長に伴う退職手当の減により職員人件費が減となる一方、小名浜地区流通加工機能強化施設等の整備に要する水産業共同利用施設復興促進整備事業費補助金や、内郷消防署建設事業が増となるほか、新型コロナウイルス感染症対策関連経費が増。
- ◆ 燃料価格の増に伴い、公共施設等の光熱費が大幅に増。

2 特別会計 963億 907万円 (対前年度: Δ21億 9,112万 6千円、Δ2.2%)

主な予算内容

会計名	予算額	対前年度	増減理由
国民健康保険事業特別会計	296億 9,406万 9千円	Δ12億 1,855万 2千円・Δ3.9%	被保険者数の減等に伴う保険給付費の減などによるもの
介護保険特別会計	333億 8,491万 6千円	+7億 8,783万 8千円・+2.4%	居宅介護サービス給付費の増等に伴う保険給付費の増などによるもの
競輪事業特別会計	265億 9,275万 9千円	Δ19億 8,706万 7千円・Δ7.0%	日本選手権開催経費の皆減などによるもの

3 企業会計 658億 8,100万 1千円 (対前年度: Δ6億 17万 4千円、Δ0.9%)

主な予算内容

会計名	予算額	対前年度	増減理由
水道事業会計	182億 2,960万 4千円	Δ2億 1,335万 2千円・Δ1.2%	老朽管更新事業の減などによるもの
病院事業会計	276億 904万 5千円	Δ4億 94万 5千円・Δ1.4%	病院情報システム更新費用の減などによるもの
下水道事業会計	190億 8,074万 8千円	Δ1億 4,203万 6千円・Δ0.7%	処理場建設事業及びポンプ場建設事業の減などによるもの

合計 3,089億 5,738万 1千円 (対前年度: +8億 1,586万 2千円、+0.3%)



Ⅲ 令和5年度当初予算の状況



1 いわき版「骨太の方針」関連予算 110億 4,609万 4千円 (対前年度: +11億 401万 6千円, +11.1%)

1 次世代を育てる
34億 6,228万 9千円
(対前年度: +6億 1,209万円)

2 命・暮らしを守る
32億 7,076万 4千円
(対前年度: △6億 7,816万円)

3 まちの魅力を高める
43億 1,304万 1千円
(対前年度: +11億 7,008万 6千円)

2 新型コロナウイルス感染症対策関連予算 34億 9,652万円 (対前年度: +7億 6,802万 2千円, +28.1%)

主な事業	◆ 新型コロナウイルスワクチン接種関係経費	15億 8,457万 5千円	+4億 7,485万 4千円
	◆ 新型コロナウイルス感染症予防対策費	14億 4,914万円	+2億 7,897万 4千円

3 構造改革推進関連予算 7億 2,066万 4千円 (対前年度: +4億 3,823万 5千円, +155.2%)

主な事業	◆ 公共施設等の集中的な維持保全	3億 5,709万 7千円	皆 増
	◆ 行政DX推進・人材育成改革関連経費	3億 6,356万 7千円	+8,113万 8千円



人づくり投資予算

15億 4,920万 7千円 (対前年度: +3億 2,173万 2千円)



<p>① 次世代を育てる人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学力を高める人づくり ◆ 子育て・家庭を支える人づくり ◆ 若者の流出抑制・人財還流に向けた人づくり ◆ DX・GX人財を育てる人づくり 	<p>10億 3,185万 3千円 (+ 1億 9,784万 5千円)</p>
<p>② 命・暮らしを守る人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災力を高める人づくり ◆ 医療人財を育てる人づくり ◆ 地域共生社会・健康長寿の実現に向けた人づくり ◆ 中山間地域を元気にする人づくり 	<p>2億 2,226万 2千円 (+ 3,664万 7千円)</p>
<p>③ まちの魅力を高める人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 産業人財を育てる人づくり ◆ 稼げる一次産業の実現に向けた人づくり ◆ 観光・文化・スポーツの魅力を活かした人づくり ◆ まちの魅力を高める人づくり 	<p>2億 4,633万 7千円 (+ 5,721万 7千円)</p>
<p>④ 市役所人財を育てる人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市役所人財を育てる人づくり 	<p>4,875万 5千円 (+ 3,002万 3千円)</p>



V 次世代を育てる人づくり



1 次世代を育てる人づくり ～ 教育・子育て・移住定住/流出抑制・DX/GX ～

分野	事業名	予算額
教育	新規 学校給食費第3子以降支援事業(第3子以降の学校給食費を無償化)	9,068万 5千円
	新規 未来を拓く「いわきの学び」推進事業 (学力日本一に向けた取組みを実施)	3,290万 1千円
	拡充 支援員設置事業(支援員を増員、医療的ケア児支援員を配置)	2億 4,499万 6千円
	拡充 「学びを支える」特別支援教育推進事業 (特別支援教育アドバイザーを増員)	1,412万 6千円
子育て	新規 ヤングケアラー支援体制強化事業 (支援コーディネーターを配置、ヘルパーによる家事・育児支援を実施)	787万 1千円
	新規 子ども食堂等運営支援事業 (子ども食堂の相談支援や運営指導等を実施)	150万円
	拡充 放課後児童クラブ利用料助成事業 (児童扶養手当受給世帯を助成対象に追加)	2,800万 1千円
移住定住 流出抑制	拡充 UIターン支援事業(子育て世帯の移住支援金を増額)	2,554万 4千円
	拡充 ふるさといわき就業支援事業(Uターン就職支援事業を実施)	1,318万 5千円
DX GX	新規 ゼロカーボン・人づくり推進事業 (ゼロカーボンの理解促進やゼロカーボン教育を強化)	228万 3千円
	スマートライフ推進事業(先端技術の活用により、暮らしの質を向上)	4,332万 6千円





VI 命・暮らしを守る人づくり



2 命・暮らしを守る人づくり ～ 防災・医療・福祉/健康/地域包括ケア・中山間/担い手 ～

分野	事業名	予算額
防 災	拡充 自主防災組織強化支援事業(登録防災士によるワークショップ活動等を実施)	826万 6千円
	原子力安全対策強化事業(登録防災士を対象とした原子力防災講座を実施)	1,078万 4千円
	消防人材育成強化事業(救急救命士や潜水土等を養成)	1,165万円
医 療	新規 いわき地域医療学校事業 (各ステージに応じた医療・介護に関する教育プログラムを展開)	969万 1千円
	拡充 地域医療確保推進事業(いわきの医療の情報発信を強化)	1,734万 9千円
	病院医師修学資金貸与事業費補助金 (市内病院が貸与する医学生の修学資金の費用の一部を補助)	4,653万円
福祉/健康 地域包括 ケア	新規 健康経営推進ヘルスケアサポート事業 (ICTを活用したスマートヘルスケアプログラム等を実施)	677万円
	子どもの学習環境整備事業(生活困窮世帯の子どもたちへの家庭訪問による学習支援や、保護者に対する教育や養育の相談支援を実施)	2,912万円
中山間 担い手	新規 小さな拠点形成支援事業 (中山間地域における小さな拠点の形成・運営を支援)	500万円
	新規 町内会等運営サポート事業 (町内会等のデジタル化の支援や課題解決に向けた取組みを支援)	247万 3千円
	拡充 地域おこし協力隊活動事業(配置人数・地区を拡充:江名地区)	5,065万 9千円





Ⅶ まちの魅力を高める人づくり・市役所人財を育てる人づくり



3 まちの魅力を高める人づくり ～ 産業・農林水産・観光/文化/スポーツ・まち ～

分野	事業名	予算額
産業	拡充 生産性向上・ダイバーシティ推進事業 (障がい者雇用における超短時間雇用モデルの導入を促進)	1,314万 4千円
	バッテリーバレー推進事業(いわきEVアカデミーの開催による人材育成を実施)	777万 7千円
農林水産	新規 豊かな森づくり担い手確保育成支援事業 (スマート林業の導入や新規就業に係る費用を補助)	4,013万 4千円
	拡充 海の魅力！いわき浜っ子総合学園事業 (小学生を対象とした漁港や水産加工場の社会科見学を実施)	535万 6千円
観光/文化 /スポーツ	新規 いわきが生んだ著名芸術家による人づくり推進事業 (本市出身の芸術家の協力を得ながら、芸術性などを学ぶ人材育成を実施)	620万円
	新規 地域で守る文化財事業(文化財サポーターを創設)	498万 7千円
まち	まち・未来創造支援事業(まちづくり活動やNPO法人設立等を支援)	4,778万 2千円



4 市役所人財を育てる人づくり ～ 行政 ～

分野	事業名	予算額
行政	新規 人材マネジメントシステム整備事業 (最適な人事配置等に資する人材マネジメントシステムを導入)	1,551万 1千円
	新規 新たなチカラ採用事業(新たな職員採用試験方式を導入)	572万 5千円





Ⅷ いわきFC応援予算



総額 1億 2,662万 9千円

事業名

予算額

21世紀の森公園アクセス環境改善経費

- ・サポーターの公共交通機関利用や徒歩での来場を促進
- ・道路照明等の新設や道路施設の維持補修
- ・21世紀の森公園内の園路灯を整備

6,243万 8千円

「選ばれるまちへ」シティセールス推進事業

- ・いわきFCと連携したプロモーションを実施

3,300万円

サポーターウェルカム事業

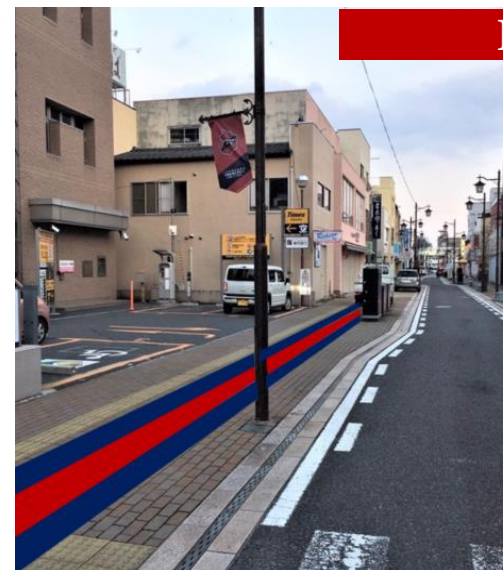
- ・いわきFC戦において、サポーターへのおもてなしや観光PR等を実施

1,658万円

スポーツによる人・まちづくり推進事業

- ・いわきFCと連携し、スポーツ人財の育成等を実施
- ・トップスポーツを観る機会を創出

1,461万 1千円



RED&BLUEルート

湯本駅からホームスタジアムであるいわきGFまでの経路案内のため、市道をいわきFCカラーである赤と紺にペイント。

※画像はイメージ

サポーターウェルカム

いわきFC戦の試合会場で、本市の観光PRや物産品の販売等を実施。

また、市内に宿泊したサポーターを対象に、市内飲食店等で使用可能なクーポンを配布。





いわき市

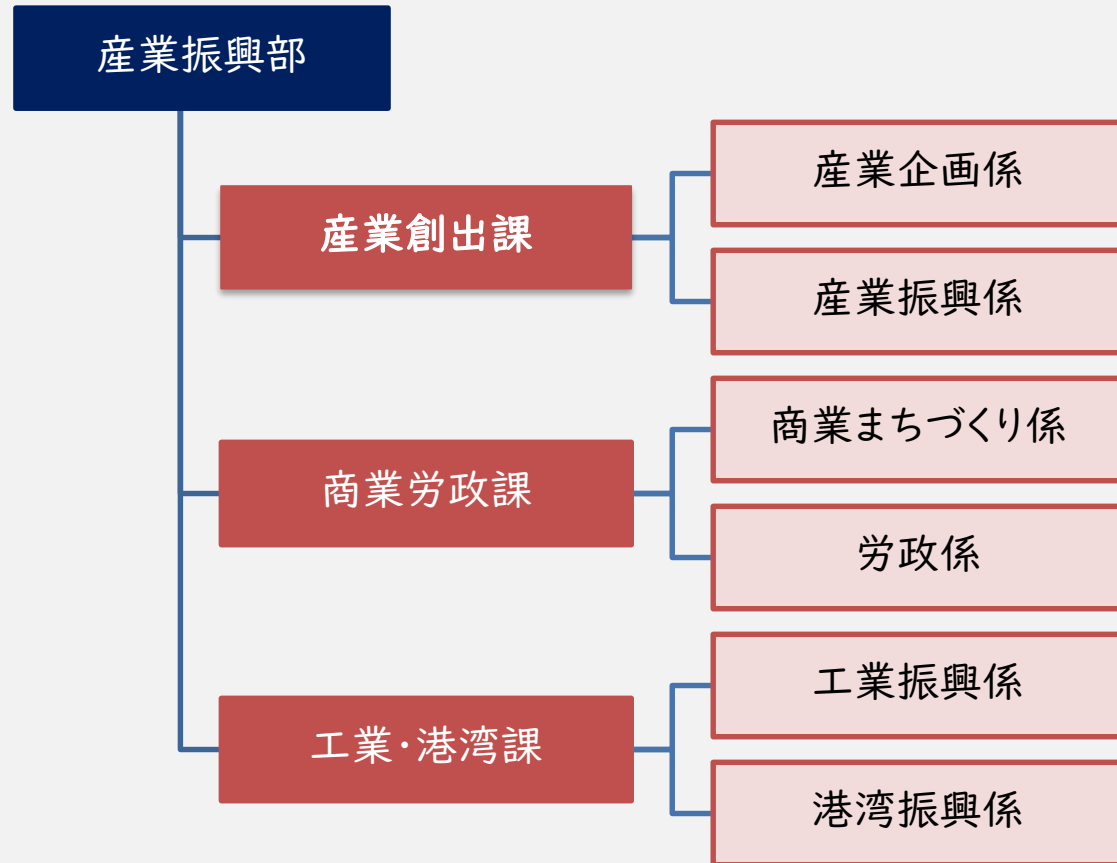
案件

2 令和5年度行政組織改正等について

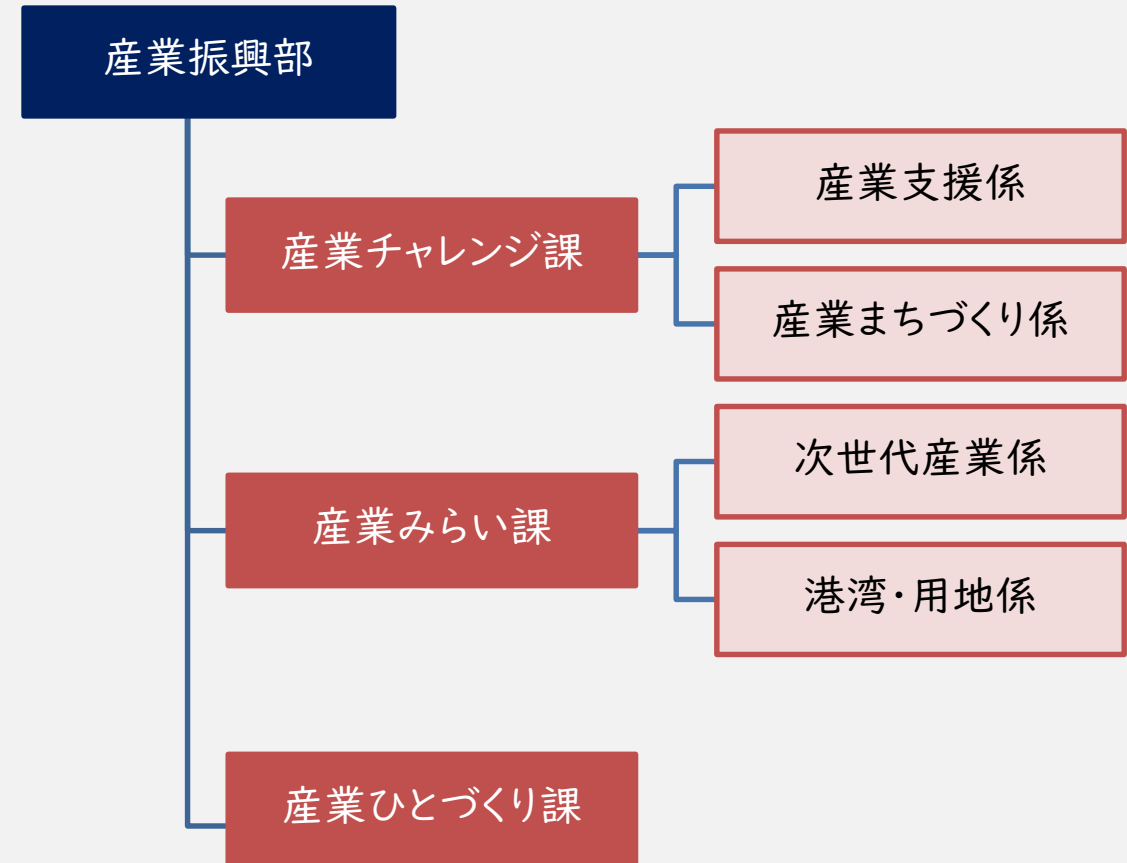
1. 産業振興部の再編

- 労働力や市場の確保など、人口減少下における産業界の課題解決に向け、若者や女性が活躍する「魅力的な働く場」の創出や意欲ある企業の取組みを支援する体制を強化する。
- スタートアップや事業再構築、経営改善など企業の成長フェーズ全般における挑戦を積極的に支援する「産業チャレンジ課」、次世代産業創出や企業誘致、港湾利活用など将来も見据えた新たな産業の創造を支援する「産業みらい課」、多様な働き方や外部人材の活用など産業人材の確保や育成に取り組む「産業ひとづくり課」を新設する。

現行

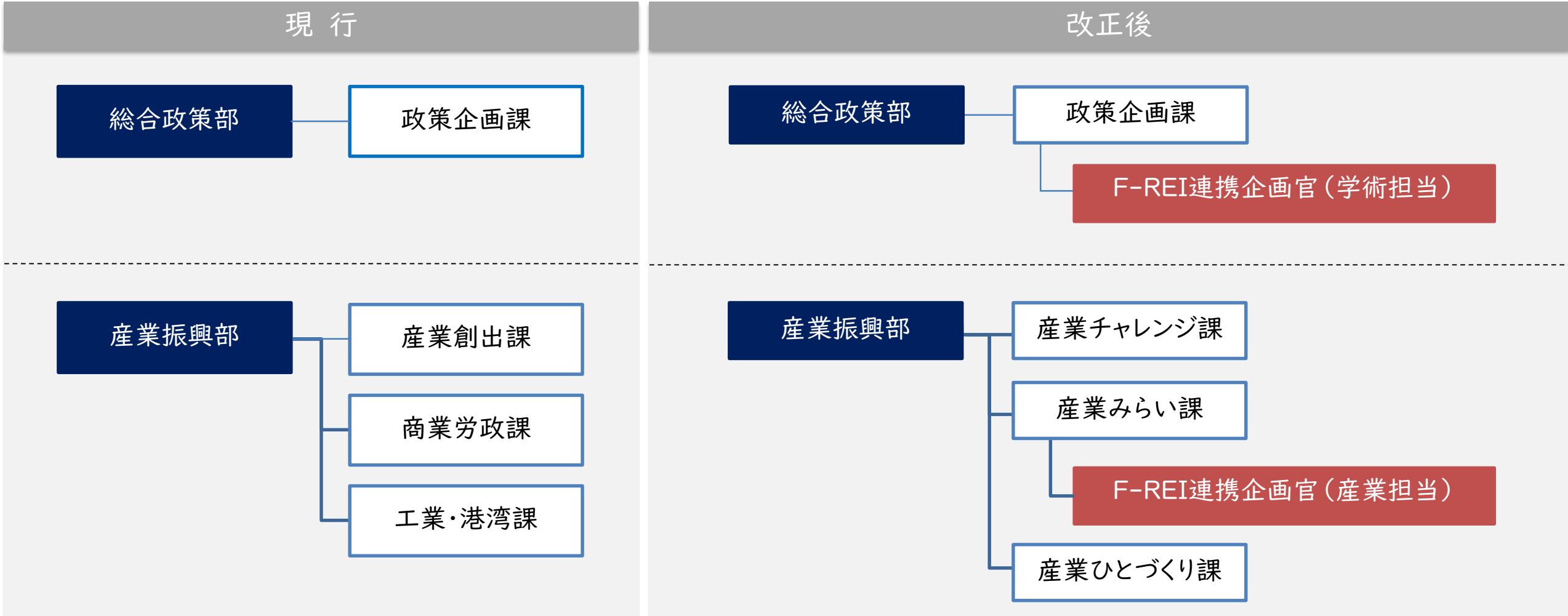


改正後



2. 福島国際研究教育機構 (F-REI) との連携に向けた体制整備

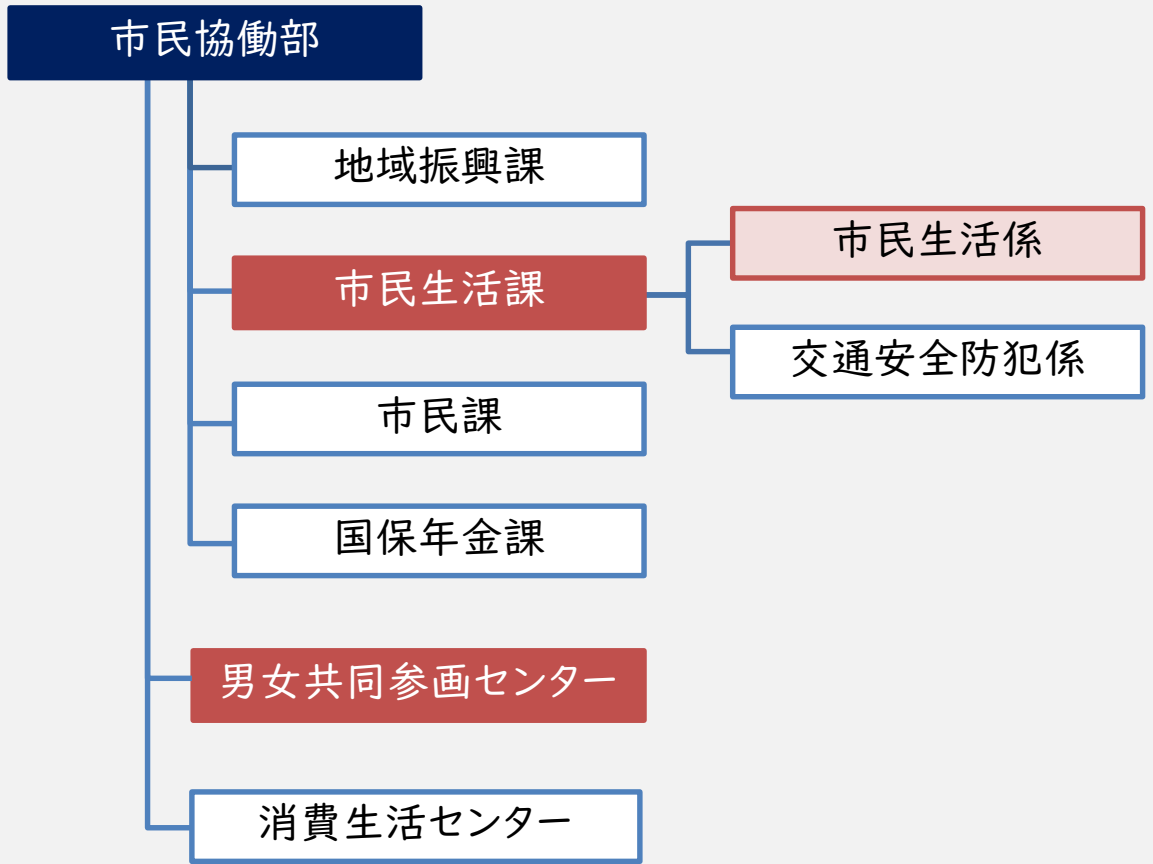
- 福島国際研究教育機構 (F-REI) との連携について、市内産学官が一体となった新たなイノベーションで雇用創出や若者還流を目指すため、総合政策部が中心となって全市的な対応を推進する。
- 総合政策部政策企画課内に高等教育機関との連携による人材育成を担う「F-REI連携企画官 (学術担当)」を配置するとともに、産業振興部産業みらい課内に市内産業界との連携による福島国際研究教育機構の研究成果の活用等を担う「F-REI連携企画官 (産業担当)」を配置し、関係部局 (生活環境部、農林水産部、観光文化スポーツ部等) と一体となった推進体制を構築する。



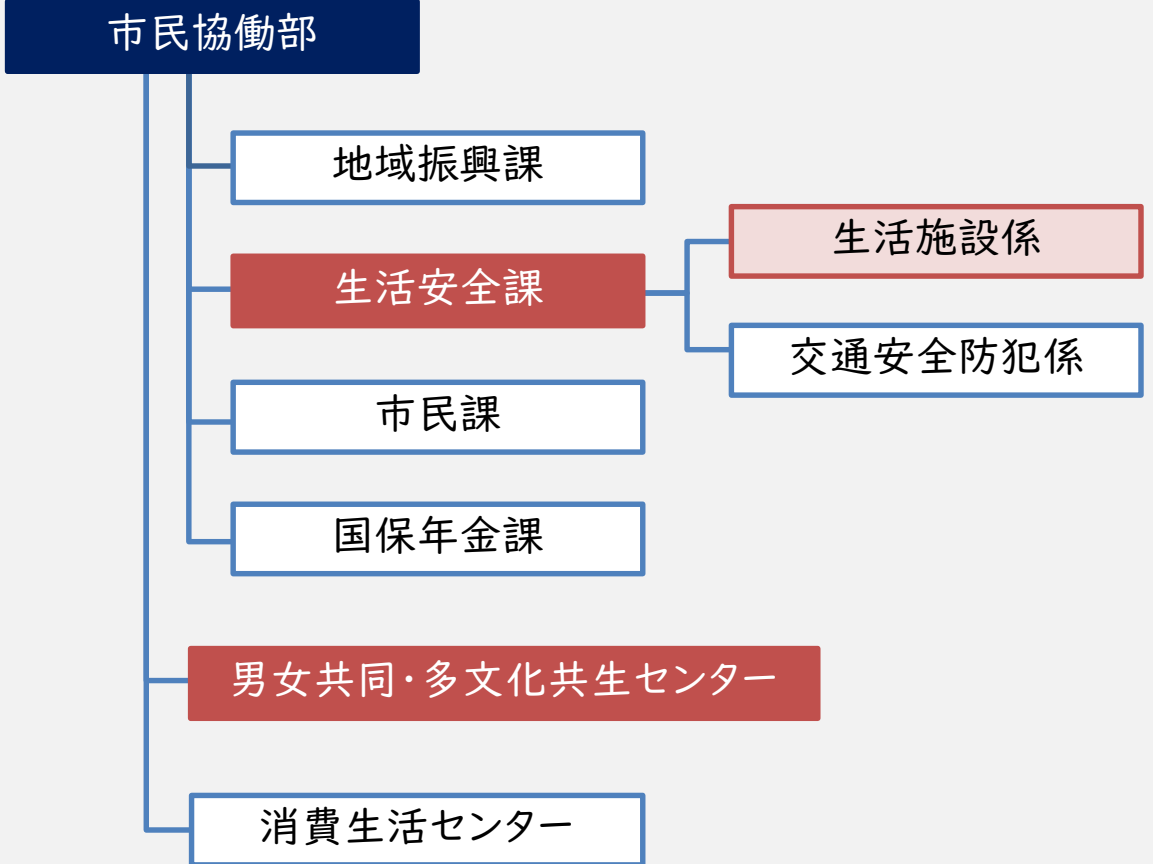
3. 男女共同・多文化共生センターの新設等

- 年齢や性別、障がいの有無、国籍や文化の違いなどに関わらず、あらゆる人々がお互いの人権を尊重しあい、ともに力を合わせて生活できる共生社会の実現を目指すため、「男女共同・多文化共生センター」を新設する。
- 「男女共同・多文化共生センター」では、男女共同参画センターが担う男女共同参画、市民生活課が担う人権擁護及びユニバーサルデザイン、観光文化スポーツ部文化交流課が担う市内居住外国人の生活支援といった**共生業務を一元的に所管**する。
- 事務移管に伴い、市民生活課を「生活安全課」に、市民生活係を「生活施設係」に改称する。

現行



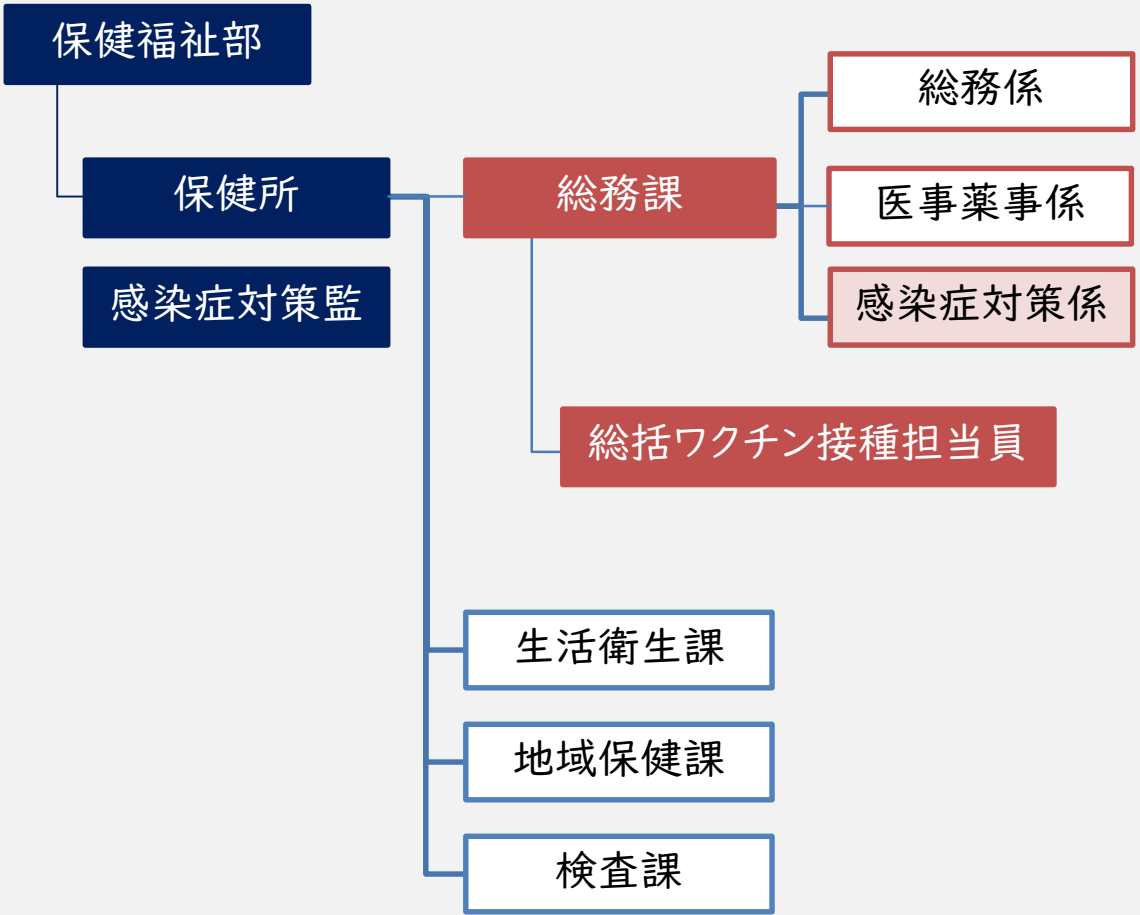
改正後



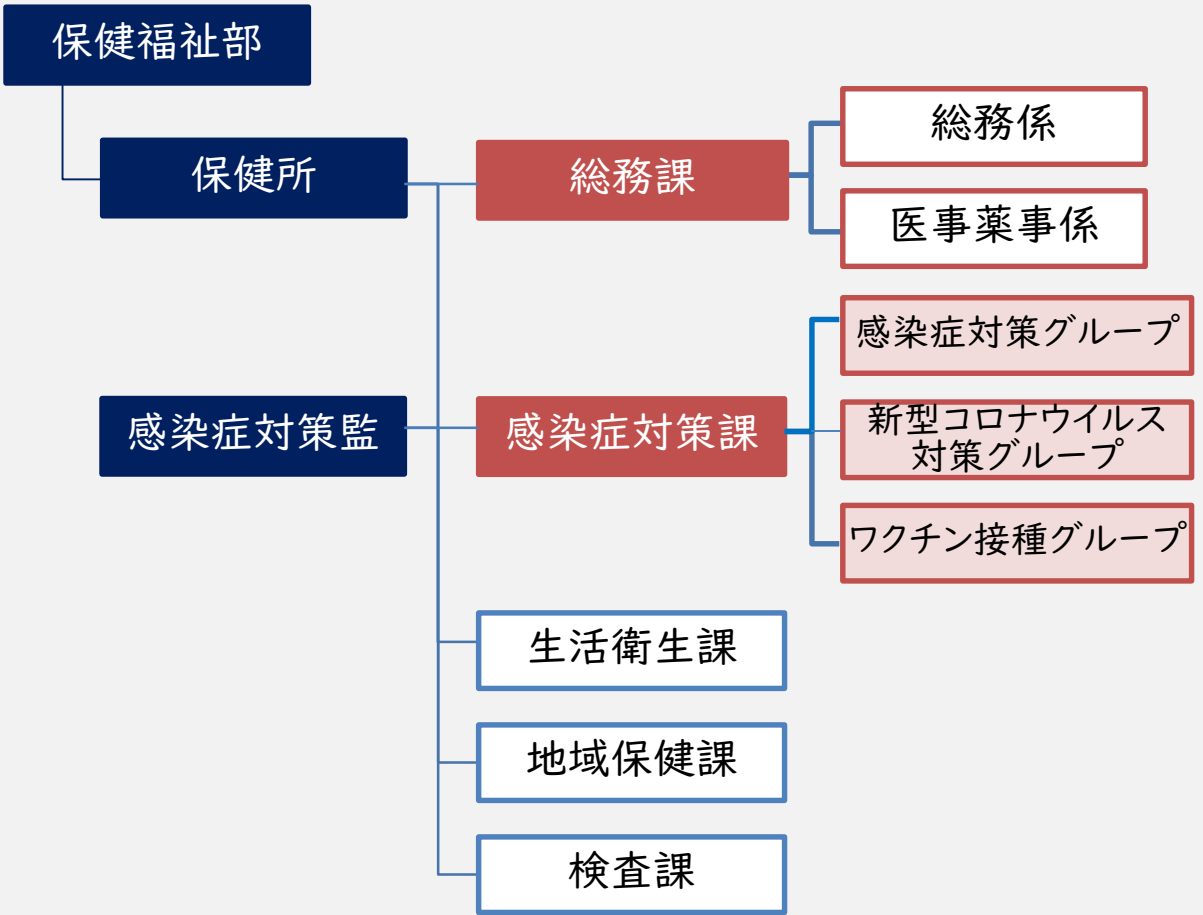
4. 感染症対策課の新設

➤ 新型コロナウイルス感染症対策については、依然終息が見えない状況を踏まえ、感染予防や感染拡大防止、医療機関との連携等に万全を期すため、専任組織として保健所内に「**感染症対策課**」を新設する。

現行



改正後



5. いわき芸術文化交流館の再編

- いわき芸術文化交流館については、今年度末をもってPFI事業に基づく施設の維持管理が終了し、令和5年度から包括的民間委託による運用へ移行することから、業務の効率化を図りながら、質の高い舞台芸術を提供するとともに、芸術文化の力による地域課題の解消に取り組む運営体制を構築する。
- 現行の企画制作課と施設管理課を再編し、舞台芸術に関する事業企画や情報発信、地域と連携した芸術文化の振興等を担う「企画協働課」と、施設の管理運営や文化活動の支援に加え、交流拠点としての機能強化等を担う「施設運営課」を新設する。

